

いちご栽培管理 (R3.2.)

(有) 丸 富

1月は天気が不安定で、寒暖の差が激しい天候だった。品種や天気、地域によって差はあるが、病害虫の発生は比較的落ち着いた状態だった。しかし、ダニ、ウドンコ病などが一部で発生しているため、引き続き注意が必要。

出蕾促進

果実を収穫すると、徐々に着果負担が軽くなり、展開が良くなる。次の花房は昨年の中に花芽分化しているため、葉が展開して順番が来れば、必ず出蕾する。

出蕾促進に**笑顔 1,000倍(又は天地の恵み 500倍)**と**サンミネーラ 10,000倍**を数回、葉面散布する。花が芯にあって、開花が進まない時は、電照時間を短くするか花が咲くまでしばらく消す。

病害対策

暖かくなり軟弱徒長すると、病害の発生が多くなる。生育状況を見て、事前に生育調整することが大切。また、事前対応が病害発生軽減にも繋がる。

健全な株の育成に**時を越えた贈り物(又は酸カル)1,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を葉面散布する。防除時に**時を越えた贈り物(又は酸カル)2,000~3,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を混用する。

着色促進

冬場は日照不足や低温により着色するまでに時間を必要とする。着果負担が大きくなり、樹勢が低下すると、病害虫の発生も多くなるので、要注意。できる限り早く収穫して、着果負担を軽減する。

着色促進に**笑顔 1,000倍(又は天地の恵み 500倍)**と**サンミネーラ 10,000倍**を数日連続、葉面散布する。

害虫対策

気温変動が大きく急に寒くなると、ネミの被害が多くなるので要注意。暖かくなると害虫発生に注意。

ネミやダニの事前対策として**バイオアクトTS 50~70 cc/10a**を5~7日毎に散水、又は散布する。事前の害虫対策として**バイオアクトTS 2,000~3,000倍**を防除時に混用散布する。

親株対策

春先に新葉が動き出した後、遅霜など低温被害に遭うと、回復に時間がかかるので、注意する。

防除時に**天地の恵み 1,000倍(又は笑顔 2,000倍)/10a**と**サンミネーラ 10,000倍**を混用する。

追肥(液肥)

少量多回数で灌水、散水する。施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	5~7ℓ/10a	} 5~7日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
時を越えた贈り物(又は天地の恵み)	100~200 cc/10a	
サンミネーラ	50~70 cc/10a	
バイオアクトTS	50~70 cc/10a	

※サンミネーラの代わりにシカアップ 100~150 cc、天然ミネラル 100~200 cc、海藻のエキス 50gでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)